

令和6年度（2024年度）「学校版環境ISOへの取組」好事例紹介

義務教育課

【小学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立楠小学校	水道や電灯のスイッチの近くに行動目標のミニパネルを貼付する工夫を行い、上水道の使用料が令和5年度と比べ19.8%減、電気使用量も7.3%減となり、目標値を達成している。牛乳パックや紙のリサイクル活動も学校全体で取り組んでいる。第5学年の環境学習では、他団体や家庭との連携を図りながら、身近な環境問題について学習を行い、児童の社会や地域をよくしたいという意識が高まっている。
	熊本市立弓削小学校	宣言項目にCO ₂ 削減を掲げ、具体的な数値目標を設定して廃油リサイクルに取り組み、協力業者による回収量ランキングで1位を獲得するなど、数値目標を大幅に超えて達成している。家庭や地域も、環境問題と一緒に取り組むことができている。緑化活動では、縦割り班や学級単位での活動を取り入れながら、全児童が参加できている。
山鹿市	山鹿市立菊鹿小学校	児童会（環境委員会）が中心となり、地域とともに栽培活動に関する取組やSDGsの視点を取り入れた環境保全に関する取組を実践している。それぞれの学年の実態に応じて、地域人材や資源を活用しながら、栽培活動や環境保全に積極的に取り組んだことで、児童がこれまで以上に環境に対する意識をもつことができている。
宇城	宇土市立花園小学校	低学年から高学年までが取り組める目標を設定し、ポスター作成や資源ごみの分別、エアコンフィルター清掃などを実施して環境保全を推進している。電気代・水道代を月ごとにグラフ化し、児童や職員の意識向上を図っている。昨年度より電気代が増加しているため、更なる見直しや意識啓発を行い、継続的な取り組みを進めようとしている。
玉名	長洲町立清里小学校	保健・環境委員会担当の職員と児童を中心に、今年度の取組について話し合い、具体的な行動目標を立て、実践している。委員会活動で途中経過を確認し、気付いたことは翌日の給食時間に放送で呼びかけるなど定期的に確認し、成果を上げている。2月の児童集会では、環境問題に関する発表が予定されており、全員で振り返る機会が設けられている。校内だけでなく保護者や地域とも連携した取組が実施され、通信やホームページ、町の広報誌で積極的に発信されている。
菊池	菊陽町立菊陽中部小学校	環境委員会の呼びかけにより、全クラスに環境ISO宣言と環境ISOコーナーが設置され、全校一丸となった取組が推進されている。児童集会を中心とした環境委員会の呼びかけや具体的な点検項目の作成等、委員会活動の充実が環境に対する意識を高めている。本年度は特に、環境委員会の働きかけにより、節電・節水の意識が高まっており、年間の継続した取組が実現している。
阿蘇	南阿蘇村立白水小学校	環境・ボランティア委員会が中心となり、「地球を大切にしよう」をテーマに、「ちきゅう」をキーワードとした児童集会で「白水小学校ISO宣言」を発表した。児童たちは主体的に環境ISOに取り組んでいる。無言掃除では、縦割り班の班長が毎月末に掃除の振り返りを記録し、掃除の様子を明確にしている。また、特に掃除を頑張った班については昼の放送で発表し、児童の意欲向上を図っている。

上益城	山都町立蘇陽南小学校	学年ごとに地域のシニアクラブと連携を図り、食に関する農園活動を中心とした環境教育を行っている。また、職員間で会議資料や保護者配付資料のペーパーレス化を進め、通勤時には急発進や急加速等を控えたエコ運転に努める等、児童と教職員が一体となって環境問題の解決に向けて意欲的に関わろうとしている。
八代	八代市立松高小学校	「エコアップ松高」と称し、学校独自の環境啓発キャラクターを作成・活用するなどして、節水や節電に努めている。その結果、昨年度と比べ（12月末時点）水道の使用量が減少しており、成果が見られる。また、委員会活動における各委員会の取組の中に、環境保全活動等が具体的に位置付けられており、児童の自主的・実践的な活動の様子がうかがえる。
	氷川町立宮原小学校	各学級や委員会、職員が目標達成を目指し行動を明確化した。取組結果をグラフ化し掲示することで児童の達成感と意欲を向上させている。保護者や学校運営協議会と連携した花壇整備で学校・地域・家庭の一体感が醸成された。「〇〇作戦」のネーミングや昼の放送により高学年の肯定感が促進された。今後は「SDGs学び」の掲示を通じ、共有の場づくりが期待されている。
芦北	水俣市立水俣第二小学校	昨年度の課題を基に今年度のISO宣言項目を検討し、重点項目を定め全校へ周知した。環境ISO・SDGs委員会と学級係が連携し、児童が主体的に活動している。家庭版環境ISOも実施し、家庭で環境を考える契機を提供している。地域住民と苗植えや収穫を行う取組を通じ、児童に食物への理解を深めさせている。数値目標を具体化し、児童の意識変容が行動に表れている。
球磨	人吉市立人吉西小学校	ISOボランティア委員会を中心に節電・節水やペットボトルキャップ回収を実施し、12月には目標の100kgを大幅に上回る200kgを達成した。児童は自主的に落ち葉集めや球磨工業高等学校とのクリーン作戦に取り組み、「学校や地域をきれいに」という意識が浸透しており、職員も節電・節水・ペーパーレス化を推進し、全校で環境ISOの取組を進めている。
天草	天草市立本渡南小学校	「宣言」において具体的な数値目標を設定し、継続的に行動・記録に取り組んでいる。児童主体の活動が多いことが特徴的で、取組の企画・周知・実施・表彰等において児童が活躍していることが分かる。児童が作成したスライドやポスターの完成度が高く、授業等で学んだことを汎用的に活用している。
	上天草市立阿村小学校	令和5年度の職業講話でシードーナツ水族館スタッフの方を招聘したことを契機に、今年度は海の日に地域の海岸清掃を実施した。児童はシードーナツ水族館スタッフや肥後銀行松島支店の方と協力しゴミの分別を行い、地域の環境保全意識を高めている。活動中は、児童の環境に対するつぶやきを大切にし、児童と教師が一丸となって取り組む姿勢が見られた。

【中学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
熊本市	熊本市立武蔵中学校	授業や職員会議の資料はタブレットやパソコンを活用しペーパーレス化を推進。緑化活動では、落ち葉を利用して腐葉土を作り、花壇整備に役立てている。全校生徒で水やりや整備を分担し取り組み、毎月第2金曜日の「さわやかふるさとデー」では登校時にゴミ拾いを実施しており、社会貢献をしながら環境意識を高めている。
	熊本市立河内中学校	生徒会執行部が主催する「OSG70」（全校生徒70名によるおそうじ活動）は、登校時のごみ拾いに加え、清掃されにくい校内各所を丁寧に清掃し、社会貢献と主体的な活動を実践している。さらに、清掃用バケツに水量制限ラインを設ける節水対策を行い、生徒の環境保全意識を高めている。これらの活動により、生徒たちは持続可能な取組に自信と誇りを持つようになっている。
山鹿市	山鹿市立山鹿中学校	生徒会と環境ISO委員会が中心となり、宣言内容を分かりやすくポスター化した。「環境ISO推進ポスター」を作成して実践し、アンケートで取組状況を確認している。その結果を基に意識向上策を検討し、全校で環境保全への取組を行うなど、持続可能な環境保全体制が着実に確立されつつある。
	山鹿市立鹿北中学校	川の上流に位置する鹿北中学校は、清流と地域の保全が世界の環境保護に繋がると捉え、環境ISOとSDGsを関連付け「持続可能な地球を鹿北から」の視点で活動している。生徒会は前年度を振り返り具体的計画を実行している。成果をリーフレットやホームページで発信し、郷土愛を育み、地域の誇りや自然の素晴らしさを次世代に伝えている。
宇城	宇土市立網田中学校	本校の環境ISO宣言は、全生徒・全職員が無理なく無駄なく継続できるものとして、各委員会を主軸に節電、美化、給食配膳時の呼びかけなどの取組が進められている。給食では、各自が適量を摂り余食は必要な生徒に分ける工夫で廃棄を減らしている。課題であった電気・エアコンのスイッチ操作は委員以外でも取り組み、全生徒が心掛けるように意識付けを図っている。
玉名	玉名市立岱明中学校	生徒会委員会（ボランティア、環境、給食）を中心に宣言項目と数値目標を設定し、全校で意識を高める活動を展開している。家庭や地域には生徒会だよりや学級通信で発信し、PTAとも協力して美化活動を推進し、今年度は朝のボランティアやペットボトルキャップ、書き損じハガキの回収など新たな取組にも取り組んだ。授業で学んだ環境問題の知識を日常生活へ結び付ける取組も進めている。
菊池	菊池市立七城中学校	省エネルギー活動や米作り、植物栽培等を通して環境にやさしい学校づくりを着実に進めている。今年度はビオトーププロジェクトチームを発足し、ホテルが舞う七城中ビオトープの完成を主要目標として活動している。さらに、地域住民の協力のもと中庭に全長30mの流水路を施工し、完成式を挙げるなど、環境意識向上にむけた多彩な取組を展開し、学内外に環境を大切にする取組が根付いている。

上益城	山都町立矢部中学校	生徒と職員が一体となり、節電・節水、校内緑化や紙のリサイクルなど多岐にわたる環境保全活動に取り組んでいる。校庭の落ち葉掃き等のボランティア活動も活発で、各委員会による古紙回収やPTAの親子資源回収にも多くの保護者が協力している。全校でリサイクル意識が高まり、地域環境保全にも貢献している。これらの取組は日常学習と地域連携の機会を提供し、環境に対する意識の向上につながっている。
八代	八代市立鏡中学校	日常生活や委員会活動では、節電や節水の取組、古紙回収や残食ゼロ運動、さらにペットボトルキャップ回収など、多彩な活動が実施されている。特にペットボトルキャップ回収は、地域企業との連携により昨年度を大幅に上回る成果を挙げ、生徒たちが社会貢献の喜びを実感している。このような継続的な実践は、生徒自らが環境保全に積極的に参加する力を育み、社会とのつながりを実感する貴重な機会となっている。
	氷川町及び八代市中学校組合立 氷川中学校	詳細な全体組織図を基に学校全体の取組体制が整備され、生徒主体の「ペットボトルリサイクルマッチ」や、環境美化委員会を中心とした節電・節水（清掃活動等）、紙使用削減が計画的かつ継続的に実践されている。「環境コーナー」の電気・水道使用量グラフが生徒の意識向上に寄与し、SDGsの視点から生活を見直すとともに、各行動の意義と目的が明確化され効果的な取組が行われている。
芦北	芦北町立佐敷中学校	地域の各団体と連携し、地域全体で環境保全活動を推進することで、生徒の環境美化意識を高める取組を実施している。こまめな点検や振り返りを通して結果を可視化・フィードバックすることで数値目標を達成できた。また、定期的な振り返り・記録・見直しを通じた方策の検討で学校環境の美化と生徒の自主的継続活動を促進し、生徒と地域の環境意識が大きく変わってきている。
	水俣市立袋中学校	昨年度の成果を踏まえ、今年度のISO宣言項目を見直し、生徒総会で提案するなどの活動に取り組んでいる。長年続いている干潟クリーンアップでは、参加生徒の意識向上を目的に、活動成果や干潟の生物情報を校内放送やオンライン配信で伝え、活動当日には地域住民やPTAも参加し交流を深める貴重な機会となった。本年度の実績からは、生徒の環境意識が着実に向上し、今後の具体的な改善策も明確に示されている。
球磨	多良木町立多良木中学校	黙動清掃や花壇整備に加え、生徒会環境委員会・ボランティア委員会・PTAが連携し「第1回多良木中学校スポーツGOMI競技大会」を開催した。保護者や地域の協力で参加者の環境意識が向上し、充実感と達成感を得た。また、中学生議会でのSDGs提案が町の広報誌に掲載され、学校版環境ISO取組の啓発に寄与している。
天草	天草市立牛深東中学校	ISO宣言で具体的な数値目標を設定し、日々の行動と記録に取り組むことで着実に目標が達成されている。また、家庭版ISOの啓発やポリオワクチン購入を通じた社会貢献への明確な目的意識、地域企業との連携など、地域・社会との協力体制による取組が際立っており、その成果が生徒や関係者の環境保全意識の向上に繋がっている。
	苓北町立苓北中学校	学校版環境ISOの宣言項目を新たに策定し、環境美化委員会が校内掲示物の作成や呼びかけを推進した。各クラスで隔週のゴミ分別チェックを徹底し、意識向上に努めている。学校便りや懇談会を通じて保護者へ活動内容を共有し、家庭や地域への啓発も実施している。これにより、学校全体で持続可能な環境改善活動が浸透し、全員の環境意識が高まっている。

【義務教育学校の取組】

管内	学校名	特徴的な取組（概要）
阿 蘇	高森町立高森東学園 義務教育学校	<p>整理整頓、節水、節電、節約の4つの「せ」を基盤に環境ISOの取組を推進している。第3学年合同の「Smile Flower 係」では花壇整備やゴーヤのエコカーテンに取り組み、中学生や教職員、保護者、地域が連携する環境保全体制が整備されている。振り返りアンケートで成果と課題を明確化し、児童生徒の意識と行動を促進する取組を進めている。</p>